



『教職員への感謝の日』～保護者の皆様ありがとうございます  
ございます

ハウス合宿に出かけました！

CAC 鴨川・里山  
保全活動  
＜ドルトン米の  
田植え＞

## 『教職員への感謝の日』～保護者の皆様ありがとうございます！

5月第1火曜日は、『教職員への感謝の日』なのだそうです。

その日は、有志保護者の方々が来校し、朝から教職員一人ひとりにお揃いのTシャツを配ってくれました。

夏らしいブルーのTシャツには、“A good education can change anyone. A good teacher can change everything.-Dalton Tokyo 2023”（よい教育は誰をも変える。よい教師はすべてを変える。）と染め抜かれています。

誰もが教師冥利に尽きると思うと同時に、保護者の皆様のご期待に沿うようますます頑張ろうと思ったことでしょう。

思わぬプレゼントに皆大喜びで、生徒が登校してくる傍らで、早速Tシャツを着て見せ合ったりしていました。

各教室で同じブルーのTシャツを着た先生達が授業する日もよいものです。

このような機会をつくってくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。とても嬉しく有難く、保護者あつての学校であることを改めて感じ入る日になりました。本当にありがとうございました。

悠久の時を超えて  
縄文・弥生土器が  
生徒の手に



## ハウス合宿に出かけました！

ドルトンの大きな特徴のひとつに、学年縦割りのハウスがあり、課外活動はハウスを中心に展開しています。

新入生を迎えて5学年そろった各ハウスでは、親睦を深めるため、5月25日・26日、一泊二日のハウス合宿に出かけました。行き先はハウス毎に、九十九里、山中湖、修善寺。どのハウスも素敵な思い出をたくさんつくったようです。

## CAC 鴨川・里山保全活動

### <ドルトン米の田植え>

千葉県鴨川市・釜沼地区の里山で、稲作体験を通じて日本の農業や食文化への理解を深める長期プログラムの第1回が、5月20日・21日一泊二日で行われました。

古民家に宿泊して、薪割り、炭焼き、食事の支度など体験するのですが、今回は田植え体験までありました。ついにドルトン米の田植えです。

一夜明けて翌日は「うちマンと学ぶ原発問題」と題したうちマンさんとともに原発問題を考えるワークショップもあり、山あり海あり田んぼありの、自然体験となりました。CAC 鴨川・里山保全活動は今後も続きます。



## 悠久の時を超えて縄文・弥生土器が生徒の手に

ドルトンは、古代から人が住んでいた国分寺崖線の舌状台地にあり、入間町城山遺跡と呼ばれる遺跡群の上に建っています。学校の敷地からは、縄文時代から中世にかけての、おびたしい数の遺構・遺物が発掘されました。

5月19日、それらを保管頂いている調布市郷土博物館の方々に、遺跡について講義頂いた上で、お持ちいただいた代表的な縄文・弥生土器に触らせてもらいました。普通はガラスケースに展示されている本物の土器を手にとって感触を試す生徒達。

縄文土器の美しさと不思議さ。実際手にしてみると縄の文様に何か意味があるに違いないと感じます。本物が学びに及ぼす力を信じています。



ドルトン東京学園中等部・高等部

〒182-0004 東京都調布市入間町 2-28-20

TEL (03) 5787-7945

Email: pub@daltontokyo.ed.jp (広報)



本校ホームページにて2023年度学校見学会・説明会の予定を公開しております。

